

教育プログラム・コースの概要

大学名等	福島県立医科大学大学院医学研究科						
教育プログラム・コース名	腫瘍循環器学インテンシブコース（インテンシブ）（テーマ①）						
対象職種・分野	医師、看護師、薬剤師など						
修業年限（期間）	1年						
養成すべき人材像	<ul style="list-style-type: none"> ・がん治療に伴う循環器系合併症（心筋障害、不整脈、血圧異常、血栓症）のスクリーニング検査法および発症時の対応を熟知し、がん治療主治医と連携した診療を実践できる医療従事者 ・慢性期におけるがんサバイバーの循環器疾患発症予防啓発を行える医療従事者 						
修了要件・履修方法	本教育コースで定める科目について、オンラインもしくは対面で1時間を6回以上、合計6時間以上のセミナーを履修し、レポートを提出すること。レポートの審査の合格をもって修了とする。						
履修科目等	<p><履修内容> ①がん治療に伴う循環器合併症の概要理解、②がん治療関連心機能障害の診療アルゴリズム、③免疫チェックポイント阻害薬による心筋炎の診療アルゴリズム、④がん関連血栓塞栓症の診療アルゴリズム、⑤心血管合併症のリスク評価、AYA世代・高齢者の診療における連携、⑥がん患者の循環器疾患発症リスクおよび循環器疾患患者におけるがん発生リスクの疫学、に関する講義や実習を行う。</p>						
がんに関する専門資格との連携	（参考；循環器専門医（日本循環器学会）の研修施設として認定。）						
教育内容の特色等（新規性・独創性等）	当院における腫瘍循環器診療データベースから実臨床における合併症発生率、発生内容を学ぶことができる。また、実際の個々の症例における合併症への対応とその転帰について学ぶことができ、即戦力が身に付く。						
指導体制	・福島県立医科大学医学部 循環器内科学講座の教授以下教員3名が中心となり、指導を行う。						
修了者の進路・キャリアパス	<ul style="list-style-type: none"> ・県/地域がん診療連携拠点病院で、次世代がん治療による循環器合併症の知識をもち、対応できる医療者として活躍する ・がん患者が抱えるさまざまな循環器合併症へ適切な支援のできる地域の医療者として活躍する 						
受入開始時期	令和6年4月						
受入目標人数 <small>※当該年度に「新たに」入学する人数を記載。 ※新規に設置したコースに限る。</small>	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	計
	0	2	2	2	2	0	8
受入目標人数設定の考え方・根拠	福島県内の6つのがん拠点病院に本インテンシブコースを修了した人材を最低1人ずつ配置することを目標にする。						